

東海体育学会 第 69 回大会

抄録集

【期 日】 2022 年 11 月 26 日（土）

【開催場所】 ウィンクあいち

5 階 小ホール 2

目次

目次.....	1
東海体育学会会長挨拶	2
大会実行委員会.....	3
大会日程	6
参加者へのお知らせとお願い.....	7
シンポジウム	10
研究発表プログラム.....	14
協賛企業紹介	17

<東海体育学会第 69 回大会 HP>に最新情報を掲載しています

以下の QR コードからもアクセスいただけます



ようやく新しい学会大会の船出 !?

東海体育学会 会長

吉田 文久（日本福祉大学）

本学会大会の開催前にこの原稿を作成しており、対面で実施されるか不明ですが、対面での実施を想定（そうできることを祈願）してあいさつの言葉を述べさせていただきます。

学会改革の目玉となる取り組みとして、2年前の学会大会から名古屋駅前のウイנקあいちを会場に固定し、理事会が主体となり運営する学会大会を実施しようと準備しました。しかし、突如襲われたコロナ禍のために、一昨年は延期、昨年は遠隔による開催を余儀なくされ、思うような取り組みには至りませんでした。しかし、「ウイズ・コロナ」の方針から、コロナ感染にしっかり取り組み、運営を工夫することで、対面実施を実現するよう検討を重ね、本日に至りました。この4月から新しい理事会体制が組織され、それまで検討してきた内容を、他学会の取り組みに学びながら理事会で再度しっかりと吟味してきました。口頭発表やポスター発表を生で見聞きし、その後に意見交換することで、対面ならではの深い議論や交流ができることと思います。本学会大会が大切にしてきた他分野交流の集いの意味と魅力を久しぶりに味わう機会となります。しかしながら、感染対策のために、参加される方々は不自由さを味わわれることもあるかと思いますが、現況に対するご理解をいただき、有意義な学会となるようにご協力をいただけますと幸いです。

さて、今回の学会大会では、学校現場では重要な課題となっています「学校から部活動が消える？『地域移行の全国展開』のゆくえ-」というテーマで、部活動の外部指導者の導入、外部委託などの問題を含めた今後の部活動のあり方について、スポーツ庁、学校現場、研究者の立場から講師の先生を招き、議論させていただきます。このテーマは学校教育の課題として捉えるだけではなく、地域スポーツのあり方、選手養成のあり方、さらにはスポーツ・ビジネスに関わるものです。学会員のみならず、会員外の方にも参加をしていただき、多様な立場で受け止め有意義なシンポジウムになることを願っております。

では、後にコロナ感染の拡大が余計な心配であったと思える学会大会の開催が実現することを願い、そして、多くの皆さんと会場でお会いできることを楽しみにしております。

大会実行委員会

大会長	吉田 文久	日本福祉大学		
大会実行委員長	富岡 徹	名城大学		
大会事務局長	田中 望	東海学園大学		
実行委員	小栗 和雄	岐阜聖徳学園大学	兒玉 友	日本福祉大学
	春日 晃章	岐阜大学	篠田 知之	岐阜協立大学
	酒井 俊郎	中部大学	水藤 弘吏	三重大学
	館 俊樹	静岡産業大学	富樫 健二	三重大学
	出口 順子	東海学園大学	内藤 譲	岐阜聖徳学園大学短期大学部
	石垣 享	愛知県立芸術大学	野津 一浩	静岡大学
	今井 厚	中部学院大学	秦 真人	愛知学泉短期大学
	内田 良	名古屋大学	早川健太郎	名古屋経営短期大学
	大西 範和	三重県立看護大学	築瀬 歩	朝日大学
	沖村多賀典	名古屋学院大学	山本 真史	日本福祉大学
香村 恵介	名城大学	頼住 一昭	愛知教育大学	

会場案内

ウインクあいち 5階 小ホール2

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38



交通アクセス

【電車をご利用の場合】

(JR・地下鉄・名鉄・近鉄)名古屋駅より

- JR名古屋駅桜通口から：ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
- ユニモール地下街5番出口から：徒歩2分
- 名駅地下街サンロードから：ミッドランドスクエア、マルケイ観光ビル、名古屋クロスコー
トタワーを經由 徒歩8分
- JR新幹線口から 徒歩9分

JR(東海道新幹線)をご利用の場合

- 東京駅から：約97分 / 新大阪駅から：約51分

【名古屋駅地下からのアクセス】



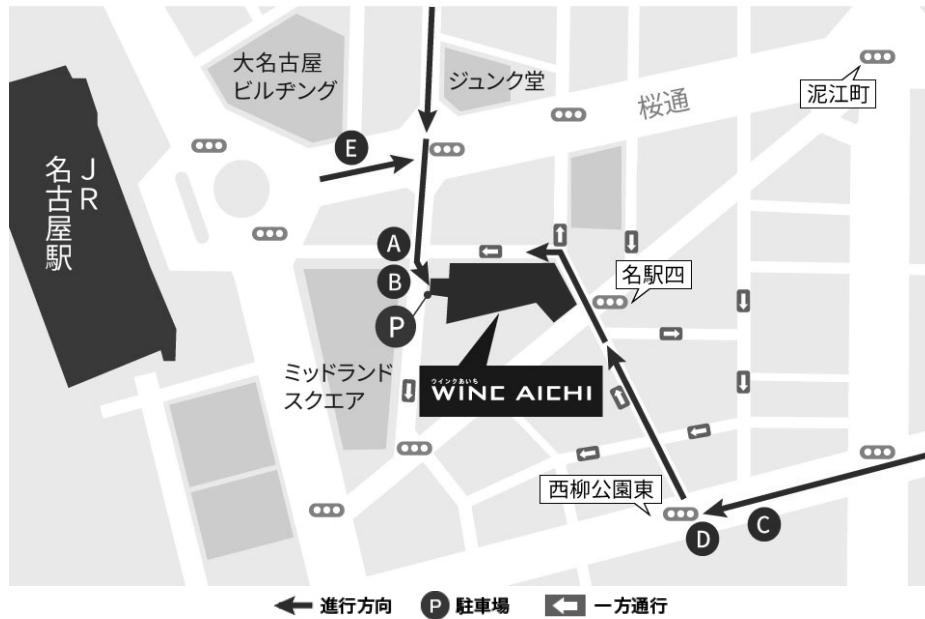
【名古屋駅地上からのアクセス】



【お車・駐車場をご利用の場合】

ウインクあいち地下2～3階に、123台収容可能な駐車場があります

【駐車場のご案内】



営業時間	24 時間（平面駐車場） / 8:00～22:00（B3F 機械式駐車場）
ご利用料金	全日 30 分（7:00～23:00）250 円 / 全日 60 分（23:00～7:00）100 円
うちきり料金	全日（入庫より 24 時間まで）1,880 円
収容台数	123 台（身体障害者用 B2F：2 台、B3F：1 台）
形態	地下 ゲート
係員	有人 8:00～22:00 ※係員巡回で不在の場合もございますがご了承ください。
駐車可能車両寸法	<ul style="list-style-type: none"> ○平面式 <ul style="list-style-type: none"> ・高さ 2.30m 以下、幅 2.00m 以下、長さ 5.00m 以下、重さ 2.00t 以下、最低地上高 15cm 以上 ○機械式（2 種類） <ul style="list-style-type: none"> ・高さ 1.55m 以下、幅 1.85m 以下、長さ 4.85m 以下、重さ 2.00t 以下、最低地上高 12cm 以上 ・高さ 1.55m 以下、幅 1.75m 以下、長さ 4.70m 以下、重さ 1.80t 以下、最低地上高 12cm 以上

駐車場管理室：052-589-8950

クレジットカードがご利用いただけます。

1 万円札・5 千円札・2 千円札のご利用は出来ません。千円札をご利用ください。

※台数に限りがございます。特に平面式の台数は限られておりますので、満車の際はご容赦願います。

※原付・自動二輪車は駐車出来ません。

大会日程

時 間	企画内容（場所）	
9 : 30～	受付開始	(5階 小ホールホワイエ)
9 : 50～9 : 55	開会（吉田会長）	(5階 小ホール2)
9 : 55～11 : 55	研究発表（口頭）	(5階 小ホール2)
12 : 00～12 : 50	理事会	(9階 907会議室)
	昼食・休憩	
13 : 00～13 : 40	研究発表（ポスター）(5階 小ホール2)	
	シンポジウム (5階 小ホール2) (YouTube 同時配信)	
13 : 50～15 : 30	<p style="text-align: center;">[学校から部活動が消える？ — 「地域移行の全国展開」のゆくえ]</p> <p style="text-align: center;">【シンポジスト】</p> <p style="text-align: center;">橋田 裕氏（スポーツ庁地域スポーツ課 課長）</p> <p style="text-align: center;">中島昌敏氏（下呂市立萩原南中学校 教頭）</p> <p style="text-align: center;">縄田亮汰氏（愛知教育大学 准教授）</p>	
15 : 40～16 : 30	総会	(5階 小ホール2)
16 : 30～	閉会	(5階 小ホール2)

参加者へのお知らせとお願い

1. 新型コロナウイルス感染症対策

- 1) 本学会大会は、対面開催を前提に準備を進めています。開催にあたっては、愛知県（会場所在地）の新型コロナウイルス感染症対策の情報を参考にしながら、感染症対策に十分な注意を払い、大会を運営いたします。ただし、ウインクあいちが閉館になった場合にはオンライン開催（Zoomを使用した方法）への変更をいたします。オンライン開催となっても、プログラムに変更はありません。オンライン開催が決定した際には、早急に発表者と参加者に参加手段等のご案内をいたします。なお、ウインクあいちの閉館決定が学会大会開催1週間（11月19日）を切った段階で公表された場合は、中止といたします。

○学会大会ご参加にあたっては、以下の点についてご確認くださいませようお願いします。

- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた場合や濃厚接触がある場合はご参加をお控えください
- ・学会開催前2週間は、感染が引き続き拡大している国・地域などへは訪問しないでください
- ・咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐 の症状に該当する場合は、ご参加をお控えください

- 2) 会場では、手指消毒、検温にご協力ください。手指消毒は5階エレベーターホールと受付に設置します。また、非接触型体温計を受付付近に設置します。
- 3) 会場内は全熱交換器による換気システムが導入されておりますが、着席時およびフロアでのディスカッション時には間隔を確保していただくよう、互いにご配慮をお願いします。
- 4) その他、ウインクあいち館内での感染症予防については、ウインクあいちの指針に従います。下記の順守事項をご確認ください。

【ウインクあいちに来場する方への順守事項】

- ・必ずマスクを着用してください。マスク未着用の入館はしないでください。
- ・施設へ入室する際に必ず手指消毒を行ってください。
- ・37.5°以上発熱のある方、倦怠感のある方、風邪症状のある方につきましては、参加を自粛してください。
- ・施設内での大きな声での会話はお控えください。

※ウインクあいち館内は下記の感染予防対策をしています

- ・会議室内のテーブル・演台・マイクなどの備品の定期的な消毒強化
- ・エレベーター押しボタン、出入口の取っ手などの設備の定期的な消毒強化
- ・手指消毒液（次亜塩素酸水）の設置、及び貸し出し
- ・非接触型の体温計の貸し出し
- ・受付カウンター飛沫防止パーテーションの設置
- ・全てのスタッフのマスク着用と健康管理の徹底
- ・エレベーターホールの混雑発生時における間隔を保った整列・待機の実施

- 5) 感染対策は学会大会開催時期の情勢や最新情報の更新に合わせて修正します（東海体育学会第69回大会HPに掲載）。参加者の皆様におかれましては、最新の情報をご確認の上、ご参加いただきますようお願い致します。

2. 受付・お知らせ・お願い

受付

- 1) 参加者は必ず受付を行ってください。
- 2) 受付はウインクあいち 5 階小ホール 2 入口前にて行います。小ホールは同じフロアに 2 つあり、小ホール 2 は小ホール 1 の奥に位置しています。5 階でエレベーターを降りた後、ホール入口を奥にお進みください。
- 3) 会員の参加費は無料です。
- 4) 非会員の方は「当日参加会員」の手続きを行い、参加費として 1,000 円をお支払いください。
- 5) 受付にて受け取っていただいたネームカードは、大会期間中は必ずご着用ください。お帰りの際は、ネームホルダーを受付にご返却ください。

お知らせ

- 6) 昼食は用意できません。持参するか、会場周辺の飲食店をご利用するなどのご対応をお願いします。
なお、ウインクあいち 1 階にコンビニエンスストアおよびカフェスペース、地下 1 階にレストランがございます。
小ホール内に持ち込みいただいたの飲食は可能ですが、ホワイエでの飲食はご遠慮ください。なお、会場内にはゴミ箱が設置されておりません。ゴミは全て各自でお持ち帰りください。
- 7) 休憩室の用意はございませんので、ご了承ください。
- 8) 大会当日の午前 6 時の時点で名古屋市に警報が発令されている場合は、大会の全日程を中止とします。これに関わる情報は、東海体育学会第 69 回大会 HP に掲載いたします。その他の災害については適宜ご判断ください。

お願い

- 9) 研究発表・シンポジウム・総会で発言される場合は、挙手の上、座長や議長の指名を受けた後、会場のスタンドマイクを使用し、所属と名前を告げてから発言してください。
- 10) ウインクあいち構内では、当館の注意事項および禁止事項を順守してください。
- 11) 研究発表中に写真やビデオを撮影することは禁止します。発表者や周囲の迷惑にならないようご協力をお願いします。

3. 口頭発表の演者の皆さまへ

- 1) 演者は発表時刻 30 分前までに受付を済ませてください（「口頭発表 1」のご発表者は、セッション開始 15 分前まで）。
- 2) 口頭発表はパソコンプロジェクターによって行います。発表の際、データが記録されたメディア（USB メモリなど）をご自身で発表用パソコンに接続してください。なお、発表用のパソコン環境は、OS が Windows10Pro、PowerPoint2016、動画再生 Windows Media Player12 です。他の OS やソフトにて作成されたデータについては動作の保証は致しかねます。また、文字化けを防ぐために、フォントは OS 標準フォントをご使用ください。
- 3) 会場で用意できるパソコンコネクタの形状は HDMI です。Windows 以外の OS（例：Mac）をご利用される場合は、この形状に変換するコネクタを各自で用意ください。
- 4) 音声使用は HDMI との接続となります。
- 5) 次の演者は、必ず次演者席で待機してください。

- 6) 1 演題の割り当て時間は、発表 10 分、質疑・討論 4 分の合計 14 分です。指定された時間内での発表をお願いします。発表者の入れ替えおよび次演者の発表準備は 1 分以内に行ってください。

合図	時間経過
ベル 1 回	発表終了の 2 分前・予鈴 (8 分経過)
ベル 2 回	発表終了 (10 分経過)
座長指示	質疑・討論の終了 (14 分経過)

- 7) 筆頭発表者が新型コロナウイルス感染症と診断された場合、感染疑いがある場合、濃厚接触者となった場合は、共同研究者が筆頭発表者に代わり発表を行ってください。筆頭発表者が来場できず、共同研究者の代理発表も困難な場合には、発表を取り消しとさせていただきます。

4. ポスター発表の演者の皆さまへ

- 1) ポスターは、縦 180 cm・横 90 cm 以内のサイズで作成してください。ポスターには演題名、演者名、所属を必ず明記してください。
- 2) ポスターは、発表 30 分前までに必ず掲示してください。展示パネル差上部に演題番号を表示しますので、該当する番号のパネルをご利用ください。押しピンは大会事務局で用意し、受け付けにて貸出いたします。
- 3) 12 時 55 分までに各自のポスターの前にお立ちください。フリーディスカッションの形式で 13 時 40 分まで質疑・討論をお願いします。
- 4) 発表終了後、速やかにポスターの撤去をお願いします。撤去されていないポスターは大会事務局で処分いたします。
- 5) 筆頭発表者が新型コロナウイルス感染症と診断された場合、感染疑いがある場合、濃厚接触者となった場合は、共同研究者が筆頭発表者に代わり発表を行ってください。筆頭発表者が来場できず、共同研究者の代理発表も困難な場合には、発表を取り消しとさせていただきます。

5. 座長の先生方へ

- 1) 座長の先生は、各セッション開始の 30 分前まで（第 1 セッションは 15 分前まで）に座長受付を済ませてください。
- 2) 次の座長の方は、前セッション最終発表開始までに次座長席におかけください。
- 3) 質疑に際しては、発言者に対して所属と氏名を告げるようにご指示ください。
- 4) 発言者が少ない場合は、発表者に質問や助言などをして討論を深めるようにご配慮ください。
- 5) 口頭発表の発表、質疑・討論時間は、発表 10 分、質疑・討論 4 分です。質疑・討論終了時間は座長によりご指示ください。
- 6) 次演者の発表準備のために 1 分間の入れ替え時間を取っております。時間の確保をお願いします。また、口頭発表 1 から口頭発表 2 への座長交代もこの時間を利用して行ってください。
- 7) 発表中の写真・動画撮影は禁止しています。また、発表中、静穏な環境を保つために、必要に応じて座長からも会場に注意喚起してください。

6. 理事会/各委員会への出席をされる先生方へ

- 1) 理事会は、昼休み時間の 12 時から 13 時まで、9 階の 907 会議室で行います。
- 2) 学術奨励賞委員会は、13 時 45 分から 907 会議室で行います。
- 3) 優秀発表賞選考委員会は、13 時 45 分から 907 会議室で行います。

[当日の緊急問い合わせ先：090-8420-7567 (田中・携帯電話)]

シンポジウム

学校から部活動が消える？——「地域移行の全国展開」のゆくえ

概 要

部活動改革の「全国展開」として、2023年度からいよいよ休日の活動の「地域移行」が開始されます。次期学習指導要領からの「部活動」の文言削除も今後の検討課題とされており、ついに部活動が学校教育から切り離されようとしています。一方で受け皿が未整備であるため、地域移行は休日に限定されており、平日は学校内で担う工夫も不可欠です。部活動を学校で教員が定時に指導する方法や、「地域移行」の程度や工夫など、生徒が参加しやすい持続可能なスポーツ活動の近未来を追求します。

座 長

内田 良（うちだ りょう）氏（名古屋大学大学院教育発達科学研究科・教育学部 教授）

内 容

- 1) 会長挨拶：5分
- 2) 趣旨説明：10分
- 3) 演者発表：45分（15分×3名）
 - ①「運動部活動の地域移行」のこれまでとこれから（シンポジスト：橋田 裕氏）
 - ②部活動を学校時間内で一取り組みの成果と展望テーマ（シンポジスト：中島昌敏氏）
 - ③持続可能な部活動の未来を目指した議論からみえてきたもの—春日井市部活動検討会議を例に—（シンポジスト：縄田亮太氏）
- 4) ディスカッション：40分

シンポジスト

橋田 裕（はしだ ひろし）氏（スポーツ庁地域スポーツ課長）

平成12年、文部省（当時）に入省。教育委員会、海外子女教育、文化財保護、国立大学法人等の担当を経て、平成21年から秋田県教育委員会に出向し、保健体育課長、義務教育課長として勤務。平成24年から文部科学省にて教育課程、大学入試、障害者学習支援の担当後、東京オリンピック・パラリンピック、教育再生実行会議、幼児教育の担当を経て、令和4年4月より現職。

中島 昌敏（なかしま まさとし）氏（下呂市立萩原南中学校 教頭）

平成9年4月岐阜県教職員として下呂市内の小中学校および岐阜大学教育学部附属中学校に勤務。平成27年から岐阜県教育委員会事務局へ。西濃教育事務所教育支援課、岐阜県教育委員会体育健康課を経て、令和元年に下呂市教育委員会学校教育課に勤務。令和2年4月より現職。

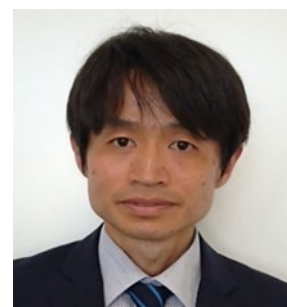
縄田 亮太（なわた りょうた）氏（愛知教育大学教育学部創造科学系保健体育講座 准教授）

平成21年に九州共立大学スポーツ学部へ赴任。その後、平成23年から佐世保工業高等専門学校一般科目科を経て、平成27年から愛知教育大学教育学部に着任。令和3年4月より現職。これまで一貫してスポーツ現場（指導・運営）に携わりつつ、現在は指導者養成にも従事。JSPQ コーチ4、JVA 公認講師。令和3年6月から春日井市部活動検討会議委員。

【シンポジウム】

「運動部活動の地域移行」のこれまでとこれから

橋田 裕（スポーツ庁地域スポーツ課長）



【背景・経緯】

中学校等の運動部活動は、これまで生徒のスポーツに親しむ機会を確保し、生徒の自主的・主体的な参加による活動を通じて、責任感、連帯感の涵養等に資するとともに、自主性の育成にも寄与するものとして、大きな役割を担ってきた。

一方で、学校の運動部活動を巡る状況については、近年、特に持続可能性という面で厳しさを増している。例えば、少子化による生徒数の減少から部員が集まらないなど、部活動の維持が困難になっていることや、競技経験のない教師が指導せざるを得なかったり、休日を含めた指導が求められたりするなど、大きな業務負担となっていることが挙げられる。

また、中央教育審議会や国会等においても指摘されてきており、これまでスポーツ庁においても、運動部活動の適正化に向けた改善方策や、地域との連携・協働や地域への移行の方向性を示してきたところ。

【現状】

こうした運動部活動改革の取組を受け、令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行を着実に実施するため、「運動部活動の地域移行に関する検討会議」を設置し、地域におけるスポーツ環境の整備などの課題について検討がなされ、令和4年6月に提言を取りまとめいただいた。

提言では、休日の部活動について、令和5年度から3年間を目途に地域移行を目指すこと、多様なスポーツ団体等が実施主体として想定されることや多様な財源の確保、指導者や施設の確保、大会の在り方の見直しなど、多岐にわたる課題への対応策が示された。

スポーツ庁としては、提言の内容も踏まえつつ、令和5年度概算要求として、102億円を要求したところ。

具体的には、

1. 受け皿となる運営団体等と学校との連絡調整等を行うコーディネーターの配置支援
2. 地域スポーツクラブ活動の運営団体等の体制整備等への支援
3. 実技指導等を行う指導者の配置や人材バンクの設置、指導者養成のための講習会等の開催等のための支援
4. 経済的に困窮する世帯の子供についての参加費用負担への支援

などに必要な経費を計上した。

また、全国の自治体等からの相談業務等を行うアドバイザー事務局の設置に必要な経費や地域スポーツクラブ活動のモデル創出に係る実践研究、部活動指導員の配置等に必要な経費も計上した。

【今後の展望】

提言を踏まえ国のガイドラインを改訂するとともに、令和5年度概算要求に計上した支援策を実現し、地域のスポーツ環境整備や多様な体験機会の確保に取り組み、少子化の中でも、子供たちがスポーツに継続して親しむ機会を確保していきたい。

【シンポジウム】

部活動を勤務時間内で —取り組みの成果と展望—

中島 昌敏（岐阜県下呂市立萩原南中学校）



【はじめに】岐阜県下呂市は、県の中部に位置する人口3万人に満たない小さな市である。市内には6つの中学校があるが、教員の働き方改革のため、令和4年4月から市内全ての中学校が年間を通して部活動を終えた生徒の下校時間を16時30分にした。この試みは、全国的に見ても先駆的な取り組みとしてメディアにも多く取り上げられたところだが、実施から半年が経過して明らかになってきた成果と課題、今後の展望を報告する。

【背景】教職員の時間外勤務の上限を月45時間とする働き方改革が求められているものの、中学校では勤務時間外にも教育活動が行われており、根本的な改革の枠組みが整っていない。特に中学校における時間外勤務の大部分が部活動の指導であることから、教育的価値が高い部活動に対する風当たりが厳しい状況にある。さらに国の「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」の推進により、学校から部活動そのものがなくなる時が訪れるのではないかとさえ思われる状況にある。こうした状況を踏まえ、働き方改革のスタートラインに立つ一歩として、また学校と部活動との共存を図る一つの方法として、勤務時間内に部活動も含めた教育活動を完結させることを試みた。

【方法】コロナ禍における過去の2か月間に及ぶ臨時休業の経験を活かし、慣習として実施してきた学校行事と時間割の見直しを図ることにより、授業時間数の確保を図った。また、市域が広くバスで通学する生徒が多いが、市を挙げての支援により下校時刻に合わせたコミュニティーバスのダイヤ改正が実現した。さらに、部活動に対する生徒や保護者、地域の期待が大きいことを踏まえ、これまで当たり前に行ってきた活動内容を見直し、短時間で「合理的かつ効率的・効果的」な活動への挑戦を行っている。

【成果】平日における教職員の時間外勤務は、月平均14.7時間の削減があり削減率は22%になる。教職員からは「体が楽である。」「授業準備の時間が増えたので、自信を持って授業に臨めるようになった。」などの声があり、受け止めは良い。生徒の受け止めも良く、昨年度までの下校（17:30下校）後の生活と比べて「良くなった」と回答する生徒の割合が9割を超えている。また、家庭学習が増加したと回答する生徒の割合も9割以上、睡眠時間が増加したと回答する生徒の割合も5割以上となっている。

【課題】一方で保護者の受け止めは、生徒の回答とは違った傾向を示している。16:30下校の実施について7割以上の保護者が肯定的であるものの、家庭学習や睡眠時間が増えたと感じている保護者の割合は3割に満たない状況である。また、「部活動の時間が少なくて残念である。」といった意見も多くある。

【これからの展望】平日の「学校部活動」の枠組みの中で、生徒がさらに自主的・主体的に部活動に参加でき、自己実現が図れる指導の継続と、保護者や地域と連携した下校後の生徒の生活設計に対する支援を見出していきたい。あわせて、休日の「地域部活動」について、市内各中学校区の実情に即した段階的な地域移行と市内のすべての生徒が安心・安全にスポーツ及び文化活動に取り組める枠組みの整備を推進するとともに、こうした市全体の取組が深刻な「教員不足」に対する環境整備にもつながることが必要であると思われる。

【シンポジウム】

持続可能な部活動の未来を目指した議論からみえてきたもの ～春日井市部活動検討会議を例に～

縄田亮太（愛知教育大学）



【設置根拠】

春日井市部活動検討会議（懇話会）は、春日井市部活動検討会議設置要綱（令和3年6月1日施行）を根拠に設置されたものである。本会はあくまでも懇話会であり、政策の意思決定機関ではない。

【設置背景】

学校における部活動は、教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の場であるとともに、スポーツ、芸術文化等に親しむなどの生涯学習の一翼を担っている。また、多様な児童生徒が活躍できる場であり、豊かな学校生活に資するものである。しかし、少子化による活動維持の困難さの現出や、競技志向への偏重による、多様な生徒ニーズへの対応不足、顧問・指導を担う教員の負担など、多くの課題を抱えている状況にある。

【会議目的】

これらの課題に対応する方向性を定め、本市における部活動のあり方を決定するにあたり、本会議を設置し、関係者から広く意見聴取を行う。

【構成員】

春日井市小中学校 PTA 連絡協議会会長・副会長、春日井市立小学校長 1 名・春日井市立中学校長 2 名、春日井市スポーツ協会理事長・理事、公益財団法人春日井市スポーツ・ふれあい財団スポーツ振興センター所長・主査、部活動指導員 2 名、縄田の 12 名、様々な立場から委員が選出されている。事務局としては、春日井市教育委員会教育長を始め、教育部長、学校教育課長等が参加している。年に 3 回程度実施される。

【内容】

- ・これまでの春日井市における部活動の経緯
- ・部活動指導員へのアンケート
- ・部活動の目的
- ・休日（平日）の部活動について
- ・令和3年度地域部活動推進事業の活用実態について
- ・教員の活用について
- ・休日部活動の受け皿について
- ・受益者負担について

発表プログラム

口頭発表 1		9 : 55~10 : 55
座長 : 水藤 弘史 (三重大学)		会場 : 5階 小ホール 2
9 : 55	O-1-体育方法 中西 健一郎 (静岡産業大学) 女子サッカーチームにおける選手選考と身体的要因との関連性に関する事例調査研究	
10 : 10	O-2-バイオメカニクス 岡本 敦 (東海学園大学) ゴルフスイングのバイオメカニクス —インパクト直前の右手首のリリースに注目して—	
10 : 25	O-3-体育史 頼住 一昭 (愛知教育大学) 東京大学初代医学部長三宅秀の体育観	
10 : 40	O-4-スポーツ人類学 富岡 徹 (名城大学) 日本人の所作性向の特徴に関する一考察	

口頭発表 2		10 : 55~11 : 55
座長 : 石垣 享 (愛知県立芸術大学)		会場 : 5階 小ホール 2
10 : 55	O-5-測定評価 武山 祐樹 (愛知工業大学大学院) Phase angle を用いた高齢者のヘルスケアマネジメント	
11 : 10	O-6-発育発達 小椋 優作 (中部学院大学短期大学部) 学童期における基礎的運動能力のトラッキング解析 —小学 6 年時を基準とした学年別のトラッキング状況の検証—	
11 : 25	O-7-発育発達 川村 理紗 (岐阜聖徳学園大学) 年長男女児における短期間運動プログラムの体力向上効果と非認知能力の関係	
11 : 40	O-8-体育科教育学 大坪 健太 (兵庫教育大学大学院, 日本学術振興会特別研究員(DC2)) 小学校高学年児童における体力と運動・スポーツおよび体育授業に対する意識・取り組みとの複合的な関連	

ポスター発表	13 : 00~13 : 40
座長 : 篠田 知之 (岐阜協立大学)	会場 : 5階 小ホール2
P-1-バイオメカニクス	
水藤 弘吏 (三重大学) 競泳キックスタート姿勢における脚筋パワーを考慮した脚配置がスタートパフォーマンスに及ぼす影響	
P-2-運動生理学	
刑部 純平 (高知工業高等専門学校) 労作性熱射病発生時のペットボトル氷を用いた氷水浸漬の検討 ―水温に着目したパイロット研究―	
P-3-測定評価	
石垣 享 (愛知県立芸術大学) 若年女性の Phase angle (PhA) は、一般的な体力を反映する	
P-4-測定評価	
白井 祐介 (東海学園大学) リリースまでの視線探索パターンと球種の判断時間の関係	
P-5-測定評価	
飯尾 洋子 (中部大学) 大学生の痩身者における身体的評価の確立	
P-6-測定評価	
富士本 有希 (岐阜大学大学院) 大学生の Grit と小学校入学以前の運動遊びの程度および友達の多さとの関連	
P-7-測定評価	
門谷 颯星 (岐阜大学大学院) 大学生の Grit と中学生時代の部活動の規律の厳しさとの関連	
P-8-発育発達	
上田 燈 (犬山南高等学校) 震災環境下における体重の MPV 年齢の経年的鈍化傾向のリスク分析	
P-9-発育発達	
可兒 勇樹 (大阪成蹊大学) モンゴル国の身体発育からみた社会経済状況	
P-10-発育発達	
早川 健太郎 (名古屋経営短期大学) 日本人女性の握力における加齢変化の時代的变化	

<p>P-11-発育発達 酒井 俊郎 (中部大学) 大学生の重度肥満者におけるリスクに関する検討</p>
<p>P-12-発育発達 杉山 莉聖 (岐阜大学大学院) 幼児期における非認知機能の因子構造および体力との関連について 一年長児を対象に—</p>
<p>P-13-体育科教育学 塚本 将太 (岐阜大学大学院) ACP が児童の運動有能感に与える影響</p>
<p>P-14-体育科教育学 竹内 花 (岐阜大学大学院) 大学生が思う中学校体育に対する嫌悪感特性 —運動・スポーツの好嫌度と運動部所属の有無との関連—</p>
<p>P-15-体育・スポーツ政策 大庭 孝斗 (岐阜協立大学) プロ野球球団の指定管理者制度導入の成果</p>
<p>P-16-体育・スポーツ政策 山口 栞奈 (岐阜協立大学) ツーリズムの促進における宣伝に対する社会的認知の現状 —中部山岳国立公園に着目して—</p>
<p>P-17-体育経営管理 小林 奈央 (岐阜協立大学) コロナ禍における B リーグクラブの経営状況と課題 —2018 年度から 2020 年度の決算を比較して—</p>
<p>P-18-体育・スポーツ政策 沖村 多賀典 (名古屋学院大学) 公共スポーツ施設の 2 つの整備体制 —社会体育施設等と都市公園の比較—</p>
<p>P-19-体育心理学 須崎 剛 (日本福祉大学大学院) 大学生アスリートの日常・競技ストレスサーがストレス関連成長に及ぼす影響</p>
<p>P-20-保健 田中 望 (東海学園大学) 低体重女性のダイエット商品使用における体重変化の加齢変化構造</p>

東海体育学会第 69 回大会 協賛団体

CopyMonitor 株式会社

ご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

論文やレポートのチェックを簡易化しませんか

CopyMonitor

文書同士がどれだけ類似しているかを判定するソリューション

最近、研究機関及び大学ではオンラインで論文・レポート提出が増えています。CopyMonitor（コピーモニター）をお使い頂く事でオンラインで教員及び査読者が直接確認する事ができない不正行為を正確に素速く見つけるのに役立ちます。また、査読者や教員の方の負担を軽減して研究員や学生の不正に対する認識を高め問題を未然に防ぐこともできます。

主な特長

- ▶ 日本語解析に優れた言語アルゴリズム搭載（英語解析も可）
- ▶ 柔軟性の高い比較設定の1:1、1:Nの文書同士の相互比較を自由に設定可能
- ▶ ユーザーまたは機関が独自の保有している文書を比較文書としてアップロード可能
- ▶ 使用者のシステムまたはLMSと連動可能（Moodle、Canvas等）
- ▶ 比較結果を視認性の高いレポートとして提供
- ▶ インターネット上のあらゆる記事や情報、国内及び国際的な学術文書やアーカイブのDB
- ▶ 直感的な操作性：他社有料製品と比べて半分の時間で解析（※弊社調べ）
- ▶ 紙の資料や書籍などをスキャンした画像 PDF 内の文書もチェック可能

新規アップロード

フォルダ名

文書の種類 ターゲット文書

比較範囲 現在のアップロード文書 アップロード済みの文書

CopyMonitor DB 機関・学校 DB

チェック範囲 引用・出典表示文章 目次・参考文献

文書リスト

文書名 ファイルのサイズ チェック状態

アップロード済みの文書は、1件1000文字以内、文字数3000以内のファイルはアップロード可能です。アップロード済みの文書は、1000文字以内、文字数3000以内のファイルはアップロード可能です。

参照ファイル 新規入力

チェック

簡単操作で文書の類似度がチェックできます
「文書リスト」のボックスに、文書ファイルをドラッグ&ドロップなどでアップロードして、緑のチェックボタンをクリックすると文書チェックを行います。一度に300ファイルまでアップロードできます。

導入事例（一部）

AIT 愛知工業大学

千葉工業大学
CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

中村学園大学
中村学園大学短期大学部

MEIJI UNIVERSITY

CopyMonitor

T (050) 3138-2288
E contact@copymonitor.jp
W www.copymonitor.jp



東海体育学会 第 69 回大会

The 69th Conference of Tokai Society of Physical Education

抄録集

東海体育学会 理事会編集

発刊 令和 4 年 11 月

〒470-0207 愛知県みよし市福谷町西ノ洞 21-233

東海学園大学

東海体育学会 第 69 回大会事務局 (田中 望)

T E L 0561-36-5555 (代表)